

## 会 議 録

会議の名称	令和2年度 第1回笠間市男女共同参画審議会		
開催日時	令和2年9月24日(木) 午前9時30分～11時30分		
開催場所	笠間市役所3階 会議室	事務局	市長公室秘書課
会議の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <非公開・一部公開とした場合の理由>	傍聴者数	なし
出席者	委員：富田委員、橋本委員、江田委員、大橋委員、中嶋委員、三村委員、田口委員、海老原委員、根本委員、藤吉委員 事務局：長谷川課長、関根		
議題	(1) 令和元年度男女共同参画推進事業の実績について (2) 令和元年度重点的に推進した事業の実績について (3) 令和2年度重点的に推進する事業の計画について (4) 令和3年度男女共同参画推進事業の計画(案)について (5) 審議会等における女性委員の参画率について		
議 事 (審議経過及び発言内容)			
1 開会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 委員自己紹介 5 会長、副会長の選任 6 あいさつ(会長、副会長) 7 協議事項 (1) 令和元年度男女共同参画推進事業の実績について 会 長 事務局から説明をしてください。 事務局 (資料に基づき説明) 会 長 意見や質問はありますか。 委 員 SDGsの達成度は国連で示したもののか、日本独自で色分けしたものか。 事務局 世界的に評価をしたものとなる。 委 員 11番に父親の育児応援があるが、男性の職場環境がよくなると女性の活躍につながるのだからこちらの事業はとても大事だと思う。 事務局 男性の働き方について時間外の短縮や育児休業の取得についても積極的に進めている。 委 員 市職員の働き方改革推進で実施した子連れ出勤に関するアンケート調査の内容は。 事務局 市では多様な働き方推進ということで市内事業者へ子連れ出勤の導入を進めているが市役所で実施する場合に対象職員のニーズを把握するために実施した。託児室のようなものがあれば子連れ出勤をやりたいという意見が多かった。 委 員 人材バンク登録促進と活用の事業で、人材バンクに登録されていても声がかからない人もいるようだが、情報提供だけではなく、積極的な人選ができるようにしてほしい。 事務局 部課長会議において、審議会における女性の比率の一覧を示し、女性委員がいない審			

議会も合わせて周知している。人材バンクの活用についても同時にお願いしていく。  
委 員 人材バンクの登録方法は。  
事務局 秘書課窓口にある応募用紙あるいは市のHPからダウンロードした用紙に記入し郵送  
またはFAXで申込み形になる。

(2) 令和元年度重点的に推進した事業の実績について

会 長 事務局から説明をしてください。

事務局 (資料に基づき説明)

会 長 意見や質問はありますか。

※質問、意見特になし

(3) 令和2年度重点的に推進する事業について

会 長 事務局から説明をしてください。

事務局 (資料に基づき説明)

会 長 意見や質問はありますか。

※質問、意見特になし

(4) 令和3年度男女共同参画推進事業の計画(案)について

会 長 事務局から説明してください。

事務局 (資料に基づき説明)

会 長 意見や質問はありますか。

委 員 テレワークをはじめとする多様な働き方は、どのような職種を対象とし発信していく  
のか。

事務局 テレワーク導入の対象となるのは事務職で、職種は限られるができるところで進めて  
いければと思っている。市役所でも今年度は実験的に実施し、来年度導入に向けて進  
めている。男性職員だけではなく、妊娠中や出産後自宅でできるような体制づくりを  
発信していきたい。

委 員 市内には資格取得に向けて支援している企業もあるため、有資格者復職支援研修会の  
事業など協力しあいながら実施できればと思う。

(5) 審議会等における女性委員の参画率について

会 長 事務局から説明してください。

事務局 (資料に基づき説明)

会 長 意見や質問はありますか。

委 員 最終目標を男女ほぼ同数に。人材バンクの活用もお願いしたい。

8 その他

委 員 男性は男性の役割、女性は女性の役割をそれぞれやっていければいいのでは。男女共  
同参画についてこれまであまり進まなかった原因を探るのが大事。男女平等というこ  
とではなく、うまく分業していくことが大事だと思う。

委 員 子育てしながら働く女性は大変。子どもが熱を出した場合、保育所は預かってもらえ  
ない。近くに親がいればいいが、そうでない人もいるため安心して働ける社会づくり

が必要。

委員 核家族化が進み、子どもを育てながら働くのが難しくなっている。ファミリーサポートセンターには、いざというとき子どもを見てもらえる場所として登録している人もいる。

「キラリかさま認定企業」の活動を知ってその後他の企業がどうなったかというところまで突き詰める必要があるのでは。

会議、イベント等を開催するときには、いろいろな方が参加できるように時間帯・曜日を考慮して企画してほしい。

委員 行政、企業の努力で数十年前と比較するとずいぶん職場環境は良くなっている。行政が発信している情報に目を向けるなど、女性の意識問題も大事。

委員 今後、講演会などを開催するときには託児所をもうけてほしい。

事務局 多数の意見をいただき、今後の事業に反映していきたい。

## 9 閉会